

名称

伊根の舟屋

House with a boathouse in the town,kyoto prf

モデルとなったのは京都府丹後半島の東、伊根町にある舟屋です。1階は玄関と小舟に係留する舟入、二階は住居となっています。この地方で今のような舟屋が並んだ歴史は意外に浅く、第二次世界大戦後だそうです。1階の形も全面開口で海水を引き込んでいるものから海水の引き込みのないものまでいろいろあります。作品は全面開口で一部海水を引き込んでいる「小浜」を持つ舟屋を再現しています。おまけに余暇用のFRP舟をセットにしています。



特集

伊根の舟屋

平成17年に伊根集落は漁村家屋で初めてとなる重要伝統的建造物保存地区に指定されました。家屋は海に面した1階部分が全面開口されているか、いないか、海水を引き込んでいるかいないかで大きく4つの対応に分類されています。

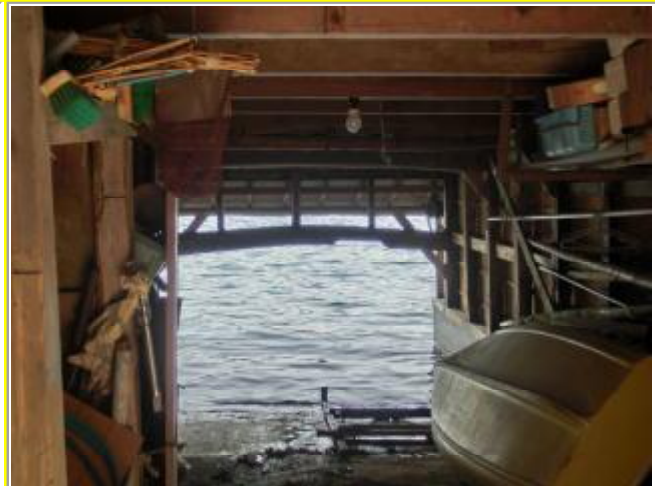
ここでは10年ほど前に訪問した際の写真です。



全面開口タイプ海水を引き込んでいるもの、いないもの、小浜を持つもの、開口のないものがあることが良く解る。



二階建て・妻入り・縦長が共通点。



舟屋の内部の様子と道路に面した側

●舟屋と由来  
伊根は、古くは伊根の浦といわれ、常に天候時代に古く書一類図説に「伊根の浦より舟を乗る」とあるように、古くから地方の漁業の中心地であった。舟屋は全国に類を見ない珍しい建物であり、1階は舟屋、2階は住居、3階は船庫の場所を隔てた。一次的な生活の場として、客室、書斎の部屋、民権等に転用されている。舟屋が伊根の町内に約230軒ほどあり、夜を過ぎると舟屋は静かな町並みを作り出す。

